

店舗

Flower Shop

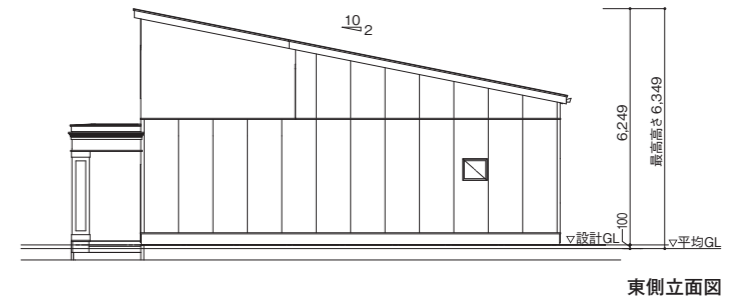


41年地域で親しまれてきた生花店が、ツーバイフォー工法で建て替えられた。ファサードに以前の面影を残し、レンガ、アイアンフェンス等も再利用されている。向かって左側が店舗の入り口、右側が半戸外空間の中庭となっている。



④⑤⑥ CLTパネル(杉材・4層120mm)の施工の様子。「CLTは精度が高いためスピーディに作業が進んだ」とコンポーネント会社の担当者は語る。  
⑦ CLTパネルの施工後の外観。  
⑧ 屋根は省エネ性能を高めるため、CLTパネルの上に208材の垂木を敷いて断熱材を施している。

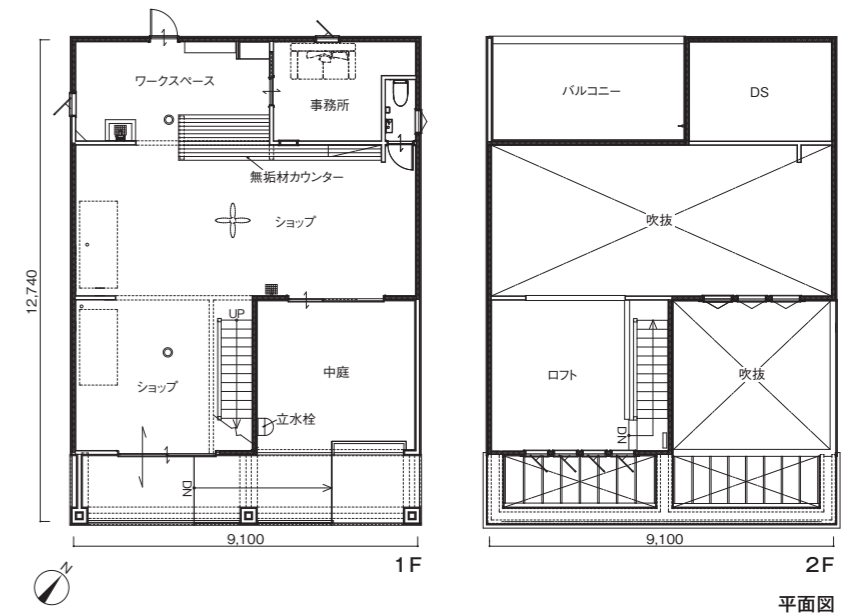
①② 店内は吹抜けの傾斜天井がCLTのあらわしになっている。天井高は最大約6mある。ロフトがつくれ、収納スペースとして利用されている。壁面には明るいグリーン色が採用されている。  
③ 親しみやすいショップになるように、中庭を取り込んだオープン設計になっている。



## CLTを「あらわし」の屋根版に ツーバイフォー 2×4フラワーショップ

この生花店の建て替えにあたっては、店主の要望により地域で41年間親しまれてきた以前の面影を残す一方で、内部のデザインはまったく新しいイメージが求められました。2017年の告示改正によりツーバイフォー建築物の床版・屋根版としてCLTが使いやすくなったことも受け、CLTパネルを屋根版に用い、構造体として大空間を支えながら室内側に意匠として見せるデザインが採用されました。店内は約40㎡の開放空間で、吹抜けの傾斜天井にはCLTの木目が並びます。「木のあらわしの空間をつくることは、植物を扱う生花店にとって魅力的な意匠となるうえ、調湿効果も得られるので、提案させていただきました」と設計者。「あらわしの迫力や質感は、張り物の内装材とは別物。お客さまにも好評で、提案してもらったことをありがたく思っています」と店主も話します。

本建物は構造材の調達において「JAS構造材利用拡大事業」を利用していますが、CLTパネルの製作も行ったコンポーネント会社の担当者は「コスト面からCLTの導入は補助金なしではまだ難しい側面もあります」と話す一方で、「木の温もりが味わえるあらわし空間はニーズが高く、本事例に続いて保育所、コインランドリーなどCLTを取り入れたツーバイフォー建築のプロジェクトが進行中です」と期待を語っていました。



### 物件概要 花せい Flower Shop

所在地: 愛知県名古屋市	設計・施工: フロンヴィルホームズ名古屋(株)
用途: 生花店	建方工事・構造材: ヒノキプラン(株)
構造: 枠組壁工法	工期: 2019年5月~12月
規模: 2階建て	用途地域: 第2種住居地域
敷地面積: 208.33㎡ (63.02坪)	防火規制: 準防火地域
建築面積: 89.00㎡ (26.92坪)	建築条件: 建蔽率60%、容積率200%
延床面積: 99.99㎡ (30.25坪)	補助制度: JAS構造材利用拡大事業